



# 多摩辺

学 校 だ よ り

昭島市立多摩辺中学校

校長 相部公太郎

令和3年 2月 9日

気遣いのできる人 ~2月全校朝礼講話より抜粋~

今月も、多摩辺中学校で生活する人すべてが、心があたたまる月になることを願っています。周りに傷ついている人はいませんか？辛い思いをしている人はいませんか？自分は、大丈夫という人は、周りにそのような人がいないか、振り返る月にしてほしいと思います。クラス・学校において、人を傷つける言葉や態度はありませんか？

「ばか」「ださっ」などのからかい。「おまえじゃない」「きえろ」「しね」などの人を否定する言葉。「しらない」「かえれ」などの人を拒絶する言葉。そして、相手を見做すなどの態度や言葉は、人の心を深く傷つけます。

では、その反対の言葉や態度について改めてお話します。人に勇気と元気を与える言葉にはどんなものがあるでしょうか。これは、大きく7種類に分類されます。「おはよう」「さよなら」「またあした」などの挨拶の言葉。「がんばれ」「おうえんしているよ」などの励ましの言葉。「ありがとう」「とてもたすかったよ」などの感謝の言葉。「すごい」「すばらしいね」などの称賛の言葉。「私もそうおもうよ」「おなじだね」などの支持の言葉。「よかったね」「やったー」などの共感の言葉。「だいじょうぶ？」「手伝おうか？」などの気遣いの言葉です。

今、多摩辺中学校で、たくさん聞こえてくる言葉です。これからも大切にしていってほしいと思います。また、もし傷ついている人がいたら、「思いやりの気持ちをもって」大丈夫？と声をかけるなど、気遣いのできる人になってください。そして、多摩辺中学校に勇気づけ言葉がもっともっと広がることを期待しています。

## 保護者・地域の皆様へ

春の語源は、「草木の芽が張る（ふくらむ）」頃だから「張る」、晴れの日が多いから「晴る」などの説があるそうです。二月は陰暦で「如月（きさらぎ）」と言いますが、如月には、植物が生き返り、よみがえるという意味もあります。冬の寒さをじっと耐えていた万物が春の陽気に包まれ元気に活動し始めるころが、今月の立春に当たります。

しかし、二月はまだまだ寒い日が続き、場所によっては、「春の雪」が積もることもあります。気温の低い日も多い中、緊急事態宣言が延長したことを受け、引き続き新型コロナウイルス感染症防止に向けた取組と学力向上・健全育成にむけた取組をバランスよく実践して参りますので、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 《3学期の教育活動における変更について》

先日、政府による緊急事態宣言が1か月延長となったのを受け、3月に延期していた以下の行事につきましては、残念ながら中止といたします。

- ① 8組 校外学習      3月 4日（木）→中止
- ② 2年生校外学習      3月 23日（火）→中止

また、部活動につきましては、昭島市の方針に沿って以下のように変更いたします。そして、期末考査前学習教室につきましても、短時間で効率よく進めてまいります。

○部活動の一部再開      2月 9日（火）より

平日 週2時間（週1回2時間、または週1時間を2回）

期末考査1週間前の期間は活動休止

土日休日の活動は行わない

\*詳しくは2月8日の通知「部活動一部再開」でご確認ください。

○試験前学習教室（1・2年生） 2月17日（水）～2月22日（月）

時間 1時間程度

\*詳しくは、学年からの通知をご覧ください。

※今後変更が生じた場合には学校だよりや月行事予定等でお伝えします。